

参加者募集

明日を担う
KOIKOIジュニアリーダーズクラブ

【ジュニアリーダー育成事業】

問い合わせ 生涯学習課 ☎215680



1年間の活動の締めくくり、3月17日の総合市民会館まつりに出店し、手づくりのドーナツやカレーを販売しました。

仲間と一緒に楽しみ、悩み、語り合える場所。家庭や学校とは違う新たな居場所を築きませんか。

「スタッフ参加」
○高校生10人
※ 定員を越えた場合は選考します。
参加費
無料（1食あたり500円程度の飲食代、公共交通機関利用の場合、実費は別途必要）

対象
次のすべてに該当する方
○市内在住または在学の小学5年生（高校生）
○心身ともに健康で、規律ある行動ができる。

原則、全プログラムに参加できる。
（郵活や大会などの都合は考慮します）

定員
「本参加」
○中学生25人
○小学6年生10人
「プレ参加」
○将来この事業に参加を希望する小学5年生5人

申し込み
4月22日(月)までに電話、ファクスまたはメールで生涯学習課へ。氏名、学校名、学年、性別、電話番号、住所を伝えてください。
ファクス ☎5801
メールアドレス
seigaku@city.otake.hiroshima.jp
電話での申し込み
平日 9時〜17時15分

平成31年度「KOIKOIジュニアリーダーズクラブ」プログラム(予定)

No.	とき	内容	ところ
1	5月11日(土)～12日(日) 1泊2日	～出会う～ 開講式、レクゲーム、紙すき体験、野外炊飯、グループワーク、自分への手紙作成	自然の家「やさか」ほか
2	6月1日(土)～2日(日) 1泊2日	～近づく～ 外部講師による防災に関する講義・体験活動	自然の家「やさか」ほか
3	7月13日(土)～14日(日) 1泊2日	～深める～ 川に関する活動、川のぼりなど	自然の家「やさか」ほか
4	9月21日(土)～23日(祝・月) 1泊2日	～自立～ 日常生活から社会を知るプログラムの実施(生活に関するお金の動きの学習、職業講話など)	総合市民会館ほか
5	11月3日(日)～4日(振・月) 1泊2日	～広げる～ 自然観察、レクリエーションなど	三滝少年自然のほか
6	平成32年1月18日(土)～19日(日) 1泊2日	～歩む～ 最終回でのプログラムの企画	自然の家「やさか」ほか
7	平成32年3月14日(土)～15日(日) 1泊2日	～まとめ～ 企画したプログラムの実施、閉講式	自然の家「やさか」ほか

※ 日程やプログラムは、変更する場合があります。

事業説明会
原則、参加者・保護者で出席してください。参加者の出席が難しい場合は保護者のみの出席、高校生の場合は参加者のみの出席でかまいません。
とき 4月27日(土) 13時〜14時
ところ 総合市民会館

一般ボランティア募集

子どもが好きな方、先生を目指している方など、子どもたちの活動をサポートするボランティアを募集しています。詳しくは生涯学習課へご連絡ください。

古代の土木技術が世界遺産

友好都市
と
「都江堰市」
Dūjiāngyàn City

問い合わせ 企画財政課 ☎2125

平成13年4月10日に友好都市提携をした中国四川省都江堰市を紹介します。



都江堰市の概要
古くは蜀の名前で知られる中国四川省。省都「成都市」から約50km北西に、都江堰市があります。

古代の叡智「都江堰」
2300年前、成都平原では、雨季には川が氾濫して洪水が起き、乾季には水不足で干ばつ被害が起きていました。李冰親子が指揮して「都江堰」を建設し、氾濫による水害を治めるとともに、水を引いて成都平原は「天府」登録されています。

「都江堰」は観光地としても有名ですが、灌漑施設技術を学ぶため、水利土木工事の専門家もよく視察に訪れます。2008年に起きた四川大地震で、李冰親子を祭った「二王廟」の一部は崩壊しましたが、「都江堰」はほぼ影響なく機能し、その技術と耐久性の高さを示しました。

「都江堰」は観光地としても有名ですが、灌漑施設技術を学ぶため、水利土木工事の専門家もよく視察に訪れます。2008年に起きた四川大地震で、李冰親子を祭った「二王廟」の一部は崩壊しましたが、「都江堰」はほぼ影響なく機能し、その技術と耐久性の高さを示しました。

世界自閉症啓発デー(4月2日)
発達障害啓発週間(4月2日〜8日)

福祉のこころ No.78 問い合わせ 福祉課 ☎2146

国連では、4月2日を「世界自閉症啓発デー」と定めています。日本でも、世界自閉症啓発デーから4月8日までの1週間を、「発達障害啓発週間」とし、各種シンポジウムを開催し、全国のランドマークなどが、シンボルカラーのブルーでライトアップされます。

自閉症を知っていますか？
誤解されやすい自閉症

市でも、「子育てと発達障害を考える会『ハートとハート』」が中心となって、ブルーライトアップキャンペーンを実施し、市役所前や大竹駅前広場を青い光で彩るほか、市立図書館で、パネル展示などによる啓発活動を行います。

自閉症は「常に自分の殻に閉じこもっている状態」と考えられたり「親の育て方が冷たかったのが原因ではないか」と思われたりすることがありますが、これは正しくありません。

ブルーライトアップキャンペーン
駅前広場点灯式
とき 4月2日(火) 18時30分〜
※ 4月8日(月)までライトアップ。

周囲の愛情と支援によって大きく育つことができます。

内容 点灯式に合わせて、ライブ演奏などが行われます。
※ 市役所前のライトアップ期間は4月2日(火)〜8日(月)です。

自閉症の人たちは、とても「純粋」であるため、自分の感じたままに話したり、行動したりすることがあります。過敏な感覚の人や優れた記憶力を持つ人もいます。

パネル展示
とき 4月26日(金)まで
ところ 市立図書館

自閉症の人たちの行動や態度の意味を理解して、愛情をもって支援していきましょう。